

戦国武将盛衰コース

本郷ふじやま公園古民家歴史部会 神田 恵仁

実施日 : 令和3年5月5日(水)

集合 : JR 大船駅南改札口 9:50(時間厳守)

解散 : JR 大船駅

行程 : 大船駅⇒玉縄首塚⇒長尾砦跡⇒御霊神社⇒田谷御霊社⇒玉泉寺
⇒神奈中バス停「辻前」⇒大船駅(解散)

玉縄首塚

1526年(大永6年)、安房の里見実堯が鎌倉に攻め込んだ。玉縄城の北条氏(北条氏綱の弟)がこれを迎え撃ち、戸部川(柏尾川)付近で激しい戦闘となった。この戦いで両軍とも多くの戦死者が出た。氏時は合戦後に、里見方に申し入れをして、互いに討ち取った首を交換し、この地に葬ったのだと伝えられています。



玉縄首塚

長尾砦

長尾砦は鎌倉時代、のちの上杉家の家臣となった長尾氏の祖先一族の館があったところ。その後永正9年(1512)頃に、玉縄城の出城として整備されました。現在でも空壕、塚などが残されています。



長尾砦跡

田谷御霊社

鎌倉権五郎景政(村岡景政)は後三年の役(1083~1087)に源義家に従い16歳で出陣しました。金沢柵の戦いで景政は左目を敵に射られながらも屈することなく、射手を倒して帰陣しました。左目に突き刺さった矢を抜こうと、三浦平太為継が景政の顔に足をかけたところ、景政は横たわったまま抜き、為継の鎧のくさずりをとらえてあげざまに突うとしました。思いがけない事態に為継が驚くと景政は『弓矢に当たって死するは武士の本望。』



田谷御霊社

それなのに足で面部を踏むとは無礼なり。汝を敵として我ここに死なん。』と言いました。為継は自分の行を謝り、膝をつき顔を手で抑えて矢を抜いたということです。景政は平安時代後期の1100年代初頭には鎌倉坂ノ下に住んで、鎌倉権五郎と称し、鎌倉・梶原・村岡・長尾・大庭氏らの鎌倉騎士団を率いて、当時は原野であった湘南地方一帯の開墾、地域開発を促進した。このような伝承から、鎌倉権五郎景政を祭神とする御霊神社は悪病や災厄を鎮め、学業成就、必勝招来、志の成就などを叶える神徳があるとして祀られてきました。

【田谷御霊社のしおりより転記】

神奈川県内には、湘南を中心に、鎌倉権五郎景政を祭神とする同系統の神社が多数あります。

◎田谷御霊社(栄区)

◎村岡御霊神社(藤沢市)

◎川名御霊神社(藤沢市)

◎坂ノ下御霊神社(鎌倉市)

◎梶原御霊神社(鎌倉市)

◎長尾御霊神社(栄区)

◎公田御霊神社(栄区)

◎深谷御霊神社(戸塚区)

◎中田御霊神社(泉区)

第147回古民家歴史探訪 横浜市栄区 戦国武将盛衰のコース



山岳信仰碑

メモリアル
ガーデン

玉泉寺

5k

八幡神社

町内会館前

金井公園入口

5.5k

辻前

金井高校前

金井高校前

金田橋

田谷御零社

十三塚

至原宿

定泉寺

洞窟前

ビニールハウス

田谷

田谷

至藤沢

バス時刻表 (戸71・戸72)

洞窟前→大船駅西 (土・休)

1	1	18	38	58	(18 48)
1	2	18	38	58	(18 48)

バス時刻表

(戸71・戸72)

辻前→大船駅西口 (土・休)

1	2	13	33	53	(13 43)
1	3	13	33	53	(13 43)
1	4	13	33	53	(13 43)

跡館居氏尾長

至戸塚駅

笠間大橋

23

鷹匠橋前

鷹匠橋

架空橋

大船駅

町内会館

2k

玉縄首塚

1k

戸部橋

dimson



横浜周辺散策

本郷ふじやま公園古民家歴史部会